

燕市史資料編Ⅱ（近現代編） 目次

近代編

凡例

第一章 近代燕の政治と町村合併

解説

史料

第一節 明治前期の町と村

第二節 地租改正事業

第三節 町村制の施行と町村合併

第四節 大正から昭和へ—燕町の行政と公共事業

第五節 戦時体制下の燕

第二章 伝統産業から洋食器の町へ

解説

史料

第一節 成立期の商工業

第二節 展開期の商工業

第三節 洋食器の発展と統制経済下の商工業

第三章 低湿地に生きる

解説

史料

第一節 信濃川・中之口川・大通川の水害と治水

第二節 水利用の組織的取り組み

第三節 農会法と耕地整理

第四節 第一次大戦前後の産業改良

第五節 燕地域の地主と小作

第六節 分水堰の崩壊と揚水ポンプの導入

第七節 稲作と畑作

第八節 副業

第九節 戦時下の農村

第四章 近代教育制度の設立と発展

解説

史料

第一節 「学制」以前の教育

第二節 「学制」頒布と教育

第三節 小学校の成立経緯

第四節 学校の財源と維持

- 第五節 教育の普及と児童の就学
- 第六節 実業教育と補習学校
- 第七節 青年活動の胎動
- 第八節 通俗教育の発展
- 第九節 戦争と教育の転回

## 第五章 自然村から地域社会の組織化へ

解説

史料

- 第一節 町村合併と人口動態
- 第二節 北海道移住
- 第三節 割地制の終焉と地主制の展開
- 第四節 地方改良運動前後の農村
- 第五節 職人と問屋制家内工業
- 第六節 町内組織と防災
- 第七節 寄生地主制と小作問題
- 第八節 昭和恐慌と経済更生運動
- 第九節 製造家と職工の発生
- 第十節 問屋制下請の展開
- 第十一節 社会事業の展開
- 第十二節 国家総動員体制下の燕町

## 現代編

凡例

### 第一章 県央の中核都市めざして

解説

史料

- 第一節 戦後の混乱から復興への道
- 第二節 新市建設への歩み
- 第三節 財政再建と都市計画
- 第四節 広域行政への取り組み
- 第五節 新たな開発と高速交通時代の到来
- 第六節 都市基盤、生活環境の整備と福祉
- 第七節 活力とうるおいあふれるまちづくり

### 第二章 世界にはばたく「ツバメ」

解説

史料

- 第一節 洋食器の生産再開

- 第二節 対米輸出と自主規制
- 第三節 近代化と構造改善
- 第四節 ドルショックと石油危機
- 第五節 円高から構造調整
- 第六節 戦後の商業

第三章 敗戦乗り越え豊かな村づくり

解説

史料

- 第一節 戦後の新しい農村計画
- 第二節 農業生産基盤の整備
- 第三節 移りゆく燕の農業
- 第四節 豊かな農村を求めて

第四章 民主教育体制下の燕

解説

史料

- 第一節 六・三制の実施と諸学校
- 第二節 学校新設と施設の拡充
- 第三節 社会教育の発展

第五章 工業化・都市化の中の町づくりと地域社会

解説

史料

- 第一節 工業発展と都市地域の変化
- 第二節 定期市と市民生活

付録 統計資料

燕市史 資料編Ⅱ（近現代編）別冊

解説

皇国地誌

史料

村是（誌）